

ISC2



Candidate 会報 (CIB)



目次	
認定資格について	4
なぜ認定が必要なのか?—あなた自身がより良い自分になるため	4
どの認定があなたに適していますか?	4
資格認定への道	9
認定登録プロセスを完了する	9
認定申請と認定登録の期限	9
ISC2 倫理規約に同意する	9
初回の年会費をお支払いください	9
認定メンバーの年会費	10
ISC2 アソシエイト（準会員）の年会費	10
試験による再認定	10
ISC2 メンバーシップの利点	10
認定資格とメンバーの価値	10
比類のないメンバー特典	10
専門能力の開発	11
CPE の機会	11
あなたのメンバーシップを管理する	11
参加、ボランティア、成長	11
割引、特典、リソース	11
認定試験について	13
認定試験への登録	13
試験日に備えましょう	13
試験のスケジュール変更またはキャンセル	13
試験の形式と採点	14
サイバーセキュリティ試験のポリシーと手順	15
試験のスケジュール変更またはキャンセル	15
払い戻し	15
遅刻または欠席	15
テストセンターに持参する必要があるもの	15
テストセンターに持ち込んではいけないもの	17
ネームマッチングポリシー	17
受験日	18
チェックインプロセス	18
受験アシスタントと休憩	18



テスト環境	18
試験終了時	19
技術的な問題	19
結果を受け取る	20
試験の不正と結果の無効化	20
再受験ポリシー	20
ISC2 の合否判定ルール	21
試験形式	21
CISSP 合格基準	21
類似する問題	22
推測	22
追加試験情報	23



認定資格について

サイバーセキュリティスキルの需要はこれまで以上に高まっています。しかし今日、知識や経験、能力だけでは十分ではなくなっています。企業や組織は、あなたが必要な専門知識、特にサイバーセキュリティ認定資格を保有していることを求めています。また、あなたが最新の脅威やテクノロジーに対応するためにスキルの継続的な向上に努めているかを知りたいと考えています。業界のゴールドスタンダードとして知られるサイバーセキュリティ認定資格の世界的リーダーである ISC2 を通じて、あなたの能力を証明しましょう。

なぜ認定が必要なのか?—あなた自身がより良い自分になるため

私たちが提供している認定資格を取得することで、

- あなたがその分野のリーダーであり、専門家であることを証明できます。
- 希望する場所で就職できるよう、他の候補者との差別化を図ることができます。
- 長年の経験を通じて得た知識とスキルを検証できます。
- ISC2 メンバーシップに参加できます。サイバーセキュリティの思想的リーダーが集まったユニークなコミュニティで、協力して技術を磨くことができます。
- ピアネットワーク、メンタリング、教育ツール、グローバルリソースにアクセスすることができます。自分自身を成長させ、自分自身に挑戦することができます。ISC2 は、あなたのような専門家がキャリアを通じて学習し、認定資格を得て、成長できるよう支援します。
- セキュリティの脅威に正面から立ち向かうための力、教育、人的ネットワークを獲得できます。

どの認定があなたに適していますか?

- **CISSP (Certified Information Systems Security Professional : 認定情報システムセキュリティ専門家)** : CISSP は、サイバーセキュリティ戦略を理解するための知識、スキル、能力を備えるとともに、現場での実践力を備えたサイバーセキュリティリーダーを認定します。CISSP は、リーダーが組織の全体的なセキュリティ体制を設計、開発、管理するための知識と経験を有していることを証明できます。
 - **必要な経験** : 認定を受ける Candidate は、現行 CISSP 認定試験概要の 8 つのドメインのうち、2 つ以上のドメインで 5 年以上のフルタイムの累積実務経験を有する必要があります。コンピューターサイエンス、情報技術 (IT) 、または関連分野で高等教育後の学位 (学士または修士) を取得することで最大 1 年間の必要な経験を満たせます。もしくは、ISC2 承認リストに記載されている追加の資格証明書を取得することで、最大 1 年間の必要な経験を満たせます。アルバイトやパートタイムの仕事、およびインターンシップも経験要件にカウントされる場合があります。
- **SSCP (Systems Security Certified Practitioner : システムセキュリティ認定プラクティショナ)** : SSCP は、サイバーセキュリティポリシーとプロシージャに基づいてデータの機密性・完全性・可用性を確保するための情報技術 (IT) インフラストラクチャを実装・監視・管理する知識、スキル、能力を備えたシステムセキュリティ実務者を認定します。
 - **必要な経験** : 認定を受ける Candidate は、現行 SSCP 認定試験の概要の 7 つのドメインのうち 1 つ以上で合計 1 年以上のフルタイムの実務経験を有する必要があります。コンピューターサイエンス、情報技術 (IT) 、または関連分野で高等教育後の学位 (学士または修士) を取得すれば、最大 1 年間の必要な経験を満たせます。アルバイトやパートタイムの仕事、およびインターンシップも経験要件にカウントされる場合があります。



- **CCSP (Certified Cloud Security Professional : 認定クラウドセキュリティ専門家) :** CCSP は、クラウドセキュリティアーキテクチャ、設計、運用、サービスオーケストレーションにベストプラクティスを適用する知識、スキル、能力を持つ情報技術 (IT) およびサイバーセキュリティのリーダーを認定します。
 - **必要な経験 :** 認定を受ける Candidate は、IT 分野で少なくとも 5 年間のフルタイムの累積実務経験が必要です。3 年間はサイバーセキュリティを担当し、1 年間は現行の CCSP 認定試験の概要の 6 つのドメインのうち 1 つ以上を担当していることが必要です。コンピューターサイエンス、情報技術 (IT) 、または関連分野で高等教育後の学位 (学士または修士) を取得すれば、最大 1 年間の必要な経験を満たせます。ISC2 承認リストに記載されている追加の資格証明書を取得することで、CCSP 認定試験の概要の 6 つのドメインのうち 1 つ以上のドメインで、1 年間の経験に置き換えることができます。CISSP 認定資格を取得することで、CCSP の経験要件すべてを満たすこととなります。アルバイトやパートタイムの仕事、およびインターンシップも経験要件にカウントされる場合があります。

- **CGRC (Certified in Governance, Risk and Compliance : 認定ガバナンス、リスク、コンプライアンス) :** CGRC は、情報システムに加え、正式なプロセスを使用してリスクを評価し、セキュリティ文書を確立する方法の認可と保守を行うための知識、スキル、能力を備えた情報技術 (IT) およびサイバーセキュリティのリーダーを認定します。
 - **必要な経験 :** 認定を受ける Candidate は、現行 CGRC 認定試験の概要の 7 つのドメインのうち 1 つ以上で最低 2 年のフルタイムの累積実務経験を有することが必要です。アルバイトやパートタイムの仕事、およびインターンシップも経験要件にカウントされる場合があります。

- **CSSLP (Certified Secure Software Lifecycle Professional : 認定セキュアソフトウェアライフサイクル専門家) :** CSSLP は、セキュリティの実践 (認証、認可、監査) をセキュアソフトウェアライフサイクルの各段階に組み込む知識、スキル、能力を持つ情報技術 (IT) およびサイバーセキュリティのリーダーを認定します。
 - **必要な経験 :** 認定を受ける Candidate は、現行 CISSP 認定試験の概要の 8 つのドメインのうち 1 つ以上で最低 4 年のフルタイムの累積実務経験を有することが必要です。コンピューターサイエンス、情報技術 (IT) 、または関連分野で高等教育後の学位 (学士または修士) を取得すれば、最大 1 年間の必要な経験を満たせます。アルバイトやパートタイムの仕事、およびインターンシップも経験要件にカウントされる場合があります。

- **ISSAP (Information System Security Architecture Professional : 情報システムセキュリティアーキテクチャ専門家) :** ISSAP は、セキュリティソリューションを開発、設計、分析する高度な知識、スキル、能力を持つ情報技術 (IT) およびサイバーセキュリティのリーダーを認定します。また、組織の目標を達成するために、リスクをに基づく優れた指導を上級管理職に行います。
 - **必要な経験 :**
 - 認定を受ける Candidate は適正性のある CISSP であり、現行 ISSAP 認定試験の概要の 6 つのドメインのうち 1 つ以上で 2 年間のフルタイムの累積実務経験を有することが必要です。

または



- 認定を受ける Candidate は、現行 CISSP 認定試験の概要の 8 つのドメインのうち 2 つ以上で合計 5 年以上のフルタイムの累積実務経験を有することが必要です。コンピューターサイエンス、情報技術 (IT)、または関連分野で高等教育後の学位 (学士または修士) を取得することで最大 1 年間の必要な経験を満たせます。もしくは、ISC2 承認リストに記載されている追加の資格証明書を取得することで、最大 1 年間の必要な経験を満たせます。アルバイトやパートタイムの仕事、およびインターンシップも経験要件にカウントされる場合があります。

- **ISSEP (Information Systems Security Engineering Professional : 情報システムセキュリティエンジニアリング専門家) :** ISSEP は、システムエンジニアリング原理およびプロセスを実践的に適用して安全なシステムを開発する高度な知識、スキル、能力を持つ情報技術 (IT) およびサイバーセキュリティのリーダーを認定します。

- **必要な経験 :**

- 認定を受ける Candidate は適正性のある CISSP であり、現行 ISSEP 認定試験の概要の 5 つのドメインのうち 1 つ以上で 2 年間のフルタイムの累積実務経験を有することが必要です。

- **または**

- 認定を受ける Candidate は、現行 CISSP 認定試験の概要のドメインのうち 2 つ以上で最低 7 年のフルタイムの累積実務経験を有することが必要です。コンピューターサイエンス、情報技術 (IT)、または関連分野で高等教育後の学位 (学士または修士) を取得することで最大 1 年間の必要な経験を満たせます。もしくは、ISC2 承認リストに記載されている追加の資格証明書を取得することで、最大 1 年間の必要な経験を満たせます。アルバイトやパートタイムの仕事、およびインターンシップも経験要件にカウントされる場合があります。

- **ISSMP (Information Systems Security Management Professional : 情報システムセキュリティ管理専門家) :** ISSMP は、サイバーセキュリティプログラマを確立、提示、管理する高度な知識、スキル、能力を持つ情報技術 (IT) およびサイバーセキュリティのリーダーを認定します。さらに深い管理スキルとリーダーシップスキルを提供します。

- **必要な経験 :**

- 認定を受ける Candidate は適正性のある CISSP であり、現行の ISSMP 認定試験の概要の 6 つのドメインのうち 1 つ以上で 2 年間のフルタイムの累積の実務経験を有することが必要です。

- **または**

- 認定を受ける Candidate は現行 ISSMP 試験概要のドメインのうち 2 つ以上で最低 7 年のフルタイムの累積実務経験を有することが必要です。コンピューターサイエンス、情報技術 (IT)、または関連分野で高等教育後の学位 (学士または修士) を取得することで最大 1 年間の必要な経験を満たせます。もしくは、ISC2 承認リストに記載されている追加の資格証明書を取得することで、最大 1 年間の必要な経験を満たせます。アルバイトやパートタイムの仕事、およびインターンシップも経験要件にカウントされる場合があります。



- **CC (Certified in Cybersecurity : サイバーセキュリティにおいて認定)** : サイバーセキュリティ分野でやりがいあるキャリアの構築に役立つように設計された基礎的なサイバーセキュリティ認定資格です。この初級レベルの認定資格を取得することにより、あなたが入門・初級レベルのサイバーセキュリティの役割に必要な基礎知識、スキル、能力を持つことを企業や組織に証明できます。また、実務を通じて学び、成長する意欲と能力を証明するものです。
 - **必要な経験** : 受験の前提条件は特にありません。認定を受ける Candidate には基本的な情報テクノロジー (IT) の知識が推奨されます。サイバーセキュリティに関する実務経験、公的な卒業証書や学位は必要ありません。認定を受ける Candidate はキャリアにおける次のステップとして、現場での経験を必要とする、ISC2 のエキスパートレベルの認定資格の取得を目指することになります。



- **ISC2 のアソシエイト（準会員）**：あなたのスキルを検証し、認定に向けて素早く前進するためのユニークな証明です。ISC2 のアソシエイト（準会員）になることで、サイバーセキュリティに関する知識を証明できます。
 - **必要な経験**：認定を受ける Candidate は、最低限の実務経験がなくても、ISC2 資格認定試験を受けることができます。合格後は、アソシエイトは継続専門教育（CPE）要件を満たす必要があります。同時に、CISSP、SSCP、CCSP、CGRC、CSSLP、ISSAP、ISSEP、または ISSMP 認定に必要な経験を得るための実務を行うこととなります。

認定試験の概要に、すべての ISC2 認定資格のために利用でき、各認定試験の対象となるドメインの詳細が記載されています。

経験時間の計算：

- **フルタイム経験**：あなたの実務経験は毎月蓄積されます。1 か月の経験を達成するには、4 週間にわたって最低 35 時間／週の経験を蓄積する必要があります。
- **パートタイム経験**：パートタイム経験は週 20 時間を超えるものとします。
 - 1040 時間のパートタイム = 6 か月のフルタイム経験
 - 2080 時間のパートタイム = 12 か月のフルタイム経験
- **インターンシップ**：インターンシップは、有給または無給にかかわらず、資格認定専門知識要件を満たすことができます。その場合、あなたの職位と詳細な経験を確認する組織のレターヘッド（企業または学術機関）のある一次情報源の文書が必要です。



資格認定への道

ISC2 のサイバーセキュリティ認定資格を取得するには、認定試験に合格し、かつ経験要件を満たすか ISC2 のアソシエイト（準会員）になる必要があります。

認定登録プロセスを完了する

認定試験に合格したことを知らせる通知を受け取った後、オンラインの認定登録プロセスを開始できます。認定申請は ISC2 認定専門家によって承認され、デジタル署名される必要があります。適正性ある ISC2 認定専門家をご存じない場合、ISC2 がエンドーサー（推薦者）として機能します。ISC2 認定専門家とは、次のような人を指します。

- あなたの専門的な経験を証明できる人
- 適正性がある、現役の ISC2 認定資格保持者である

エンドーサー（推薦者）は、専門的経験に関するあなたの主張が、推薦者の知識に基づいて真実であること、あなたがサイバーセキュリティ業界内で適切な存在であることを証明します。オンライン申請書に記入する際には、エンドーサー（推薦者）の会員番号・認証番号が必要となります。

注意：Certified in Cybersecurity (CC) 試験に合格した場合、あなたの推薦状は倫理に関する質問と同意を含む簡単な認定申請となります。経験や推薦者は必要ありません。

認定申請と認定登録の期限

認定試験に合格したすべての Candidate は、9 か月以内に認定申請と認定登録のプロセスを完了する必要があります。

ご注意ください：試験に合格し、エンドースメント（推薦状）を提出した認定を受ける Candidate のうち一定の割合が、監査のために無作為に選ばれ、検証するために必要に応じて追加情報の提出が求められます。あなたの申請が監査対象に選択された場合には、電子メールで通知されます。

ISC2 倫理規約に同意する

ISC2 認定を受けたすべてのサイバーセキュリティ専門家は、この資格が、獲得し維持しなければならない資格であることを認識する必要があります。すべての ISC2 メンバーは、ISC2 倫理規約規範を完全に遵守することが求められます。

- 社会、公益、公共から求められる信頼と信用、インフラを守る。
- 法律に違わず、公正かつ誠実に責任を持って行動する。
- 行動規範に対して、誠実かつ期待されるサービスを提供する。
- 専門性を高め、維持する。

初回の年会費をお支払いください

エンドースメント（推薦状）申請が承認されたら、プロセスの最後のステップとして、初回の年会費（AMF：Annual Maintenance Fee）を支払います。すでに ISC2 資格を取得している場合、最新の資格のために年会費を追加で支払う必要はありません。

Certified in Cybersecurity の年会費は 50 米ドルです。これは認定資格取得時にお支払いいただきます。



認定メンバーの年会費

ISC2 認定メンバーは、年次の認定更新時に年会費 135 米ドルを 1 回お支払いいただきます。メンバーは、取得した認定資格の数に関係なく、年会費 135 米ドルを 1 回お支払いいただくだけで完了します。複数の認定資格を持つメンバーの場合、認定日が最も早い日付が支払い期限となります。

ISC2 アソシエイト（準会員）の年会費

ISC2 アソシエイト（準会員）は、年会費 50 米ドルのを毎年をお支払いいただきます。支払期限日は、準会員ステータスを取得した日です。

試験による再認定

ISC2認定メンバーやアソシエイト（準会員）が、一時停止された認定資格または指定を復活させるためには、未処理のCPEクレジットをすべて提出し、期限に間に合わなかった年会費をすべて支払うことが求められます。ISC2認定メンバーやアソシエイト（準会員）には、未処理のCPEクレジットや期限に間に合わなかった年会費を支払うために、認定サイクルの終了から90日間の猶予期間が与えられます。停止状態は連続して最大2年間維持される場合があります。2年経過後、ISC2認定メンバーやアソシエイト（準会員）の資格は停止され、すべてのメンバーシップの権利が取り消されます。資格を停止された認定メンバーやアソシエイト（準会員）が復帰を希望する場合、再受験して試験に合格することが求められます。

ISC2 メンバーシップの利点

ISC2 は、皆さまのようなサイバーセキュリティリーダーのための国際的な非営利会員団体です。私たちはメンバーが学び、成長し、前進できるよう支援することに尽力しています。500,000 人を超える強力なメンバーを擁する ISC2 は、サイバー、情報、ソフトウェア、IT、インフラストラクチャのセキュリティのあらゆる側面に携わる専門家に貢献しています。

ISC2 資格を取得することで、世界的に認められたサイバーおよび IT セキュリティの専門家の一員となることができます。安全で安心なサイバー世界を実現するという私たちの使命の達成の外に、キャリアの強化に役立つ、幅広い独占的なリソース、教育ツール、ピアツーピアネットワーキングの機会、カンファレンス、イベントの割引などを提供します。

認定資格とメンバーの価値

ISC2 は、キャリアを通じて専門家の教育と認定を行う世界的な非営利団体リーダーとして認識されています。私たちは、サイバーおよび IT セキュリティ認証およびトレーニングプログラムは業界のゴールドスタンダードとして評価されています。

ISC2 を通じて認定資格を取得すると、その分野のテスト済みで検証可能な技能証明書が得られ、キャリアの向上や新たな専門的成長の機会につながります。

比類のないメンバー特典

ISC2 メンバーとして、学習と成長が止まることはありません。私たちは、最新のサイバー脅威、ベストプラクティス、業界トレンドの先を行く継続教育と開発を可能にする一連の特典とリソースへのアクセスを提供します。

メンバーとアソシエイトは、スキルセットを拡大し、CPE を獲得できるよう、あらゆる種類のリソースと限定特典へのアクセスを享受できます。これには、専門能力の開発やボランティアの機会の充実、ピアツーピアネットワーキングとベストプラクティスの共有、ISC2 のセキュリティ会議年次サイバー



セキュリティカンファレンス、プロフェッショナル褒賞および奨学プログラム、業界イベントや学習教材の割引などが含まれます。

専門能力の開発

メンバーとアソシエイトがスキルを磨き、好奇心を刺激されながら、やりがいのある CPE を獲得できるように支援する無料の没入型継続教育コースをご用意しています。メンバーとアソシエイトが追加料金なしで利用できる専門能力開発ライブラリには、現在 10,000 ドル以上の価値がある 35 の高速学習、没入型、ラボスタイルのコースが含まれています。

CPE の機会

私たちは、メンバーとアソシエイトがセキュリティの専門家として進化し成長できるよう、やりがいのある CPE の機会を幅広く提供しています。私たちの示唆に富むイベント、ウェビナー、出版物、試験開発ワークショップのボランティア活動は、CPE を獲得し、サイバーセキュリティの最新の問題やベストプラクティスを常に把握するための優れた方法と言えます。

あなたのメンバーシップを管理する

デジタル証明書のダウンロード、デジタルバッジの請求、CPE の確認、通信設定の更新などを行うことができます。ISC2 メンバーシップを最大限に活用できているかご確認ください。

参加、ボランティア、成長

専門的な成長、ベストプラクティスの共有、メンターとしての活躍、成果の評価など、さまざまな機会について知ることができます。

- 認定試験の開発：さまざまな認定試験開発ワークショップに参加することで、ISC2 認定資格が常に最先端で、業界に関連したものであることを確認できます。これには、CPE を獲得するための項目の作成など、あなたが取得した認定資格に貴重な情報を提供する取り組みが含まれます。
- セキュリティ国際会議：ISC2 セキュリティ国際会議に参加し、カンファレンスでのみ得られる強力なコラボレーションを活用しましょう。私たち全員が直面する課題の解決に互いに助け合うことに注力しましょう。
- サイバー安全性と教育のためのセンター：子ども、親、高齢者のオンラインにおける安心・安全を守るために、地域でボランティア活動する機会を見つけることができます。さらに、奨学金について学び、雇用者と共有できるリソース情報を入手しましょう。
- コミュニティ：オンラインコミュニティで世界中のサイバーセキュリティ専門家とつながりましょう。共同で作業し、知識を共有し、サイバー業界の進化し続けるニーズと関心を管理するために必要なベストプラクティスを開発しましょう。
- チャプター：ISC2 チャプターは、知識を共有し、リソースを交換し、プロジェクトで共同作業し、CPE クレジットを獲得する新しい方法を作成するローカルネットワークを構築する機会を提供します。
- ISC2 ブログ：ISC2 ブログでは、サイバーセキュリティ専門家が直面するトピックを取り上げています。新しい研究、レポート、認定に関するニュースについては、投稿をお読みください。ISC2 メンバーは記事を投稿することで、CPE を獲得できます。

割引、特典、リソース



トレーニング教材の割引からプロフェッショナルサービスの割引まで、幅広いメンバー限定の割引や特典をご利用ください。



認定試験について 認定試験への登録

1. ISC2 Web サイト <https://www.isc2.org/Register-for-Exam> をご覧ください。
2. アカウントを作成し、秘密保持契約書（NDA）をレビューします。ピアソン VUE は、すべての ISC2 試験の独占的なグローバル管理者です。
3. 試験の種類を選択してください。
4. 試験日と試験会場を決定します。
5. 試験費用をお支払いください。
6. 予約の詳細、テストセンターの場所、その他の指示がある場合は、ピアソン VUE から確認メールが送られます。
7. ピアソン VUE は登録情報を ISC2 に転送します。試験実施プロセスに関するすべての連絡は電子メールで送信されます。電話で登録することもできます。お住まいの地域に対応する電話番号は、[ピアソン VUE の Web サイト](#) で確認できます。

ご質問はありますか？

ISC2 Candidate およびメンバーサービスに問い合わせてください

- 電話：+1. 866-331-ISC2 (4722)、Candidate のサポートについては「1」を押してください
- E メール：membersupport@isc2.org

試験日に備えましょう

- [ISC2 Candidate の受験資格](#) についてよく理解していただく必要があります。これらは試験に合格したときに ISC2 メンバーになるために満たす必要がある基準です。
- 各試験はコンピューターを使用して行われます。ピアソン VUE の Web サイトでは、試験体験のデモとチュートリアル の両方にアクセスできます。
- ISC2 試験を受験することにより、あなたは [ISC2 試験同意書](#) を読み、そこに記載された義務を十分に理解し、同意したものとみなされます。ピアソン VUE の資格情報を許可されていない第三者に公開することは、ISC2 秘密保持契約に違反します。許可された第三者には、Candidate、ピアソン VUE、ISC2 が含まれます。ISC2 機密保持契約に違反した場合、試験結果または認定資格が即時かつ永久に取り消される場合があります。
- GI 法（退役軍人援護法）を通じて受験料の補助を受ける資格がある場合は、[米国退役軍人の福利厚生についての詳細](#) をご覧ください。

試験のスケジュール変更またはキャンセル



- ISC2 は、試験に対するアコモデーション（配慮）の必要性を証明した受験者に対して、試験に対する合理的かつ適切なアコモデーションを提供します。アコモデーションを要請したい場合は、[アコモデーションフォーム](#)に記入して、試験に登録する前に、ISC2 に返送してください。その際に次の情報を membersupport@isc2.org に送信してください。
 - 必要なアコモデーションの内容
 - アコモデーションを裏付ける書類
 - 受験したい試験
 - 試験会場
- アコモデーションは個別に考慮され、ケースバイケースで検討されます。アコモデーションが ISC2 によって承認されると、ISC2 がそれをピアソン VUE のアコモデーション部門に伝えることとなります。ピアソン VUE がこの情報を取得するまでに 2～3 営業日かかります。その後、ピアソン VUE (+1. 800. 466. 0450 または +1. 952. 905. 7025) に電話して、受験予約を申し込むこととなります。まずは ISC2 までご連絡ください。最初にピアソン VUE の Web サイトや登録電話窓口を介して受験予約を開始しないでください。
- アコモデーションの目的は、受験者に試験に完全にアクセスできるようにすることであることにご留意ください。ただし、テスト結果の向上やテストの完了を保証するものではありません。

試験の形式と採点

試験の採点に関するよくある質問への回答については、[こちら](#)をクリックしてください。

試験	時間割り当て	問題	対応言語
CISSP CAT	3 時間	125～150 問の多項選択式、先進的・革新的な問題	英語、ドイツ語、スペイン語 現代語、日本語、中国語（簡体字）
SSCP	3 時間	125 問の多項選択式*や四者択一式の問題	英語、現代スペイン語、日本語
CCSP	3 時間	125 問の多項選択式**や四者択一式の問題	英語、ドイツ語、日本語、中国語（簡体字）
CGRC	3 時間	125 問の多項選択式や四者択一式の問題	英語
CSSLP	3 時間	125 問の多項選択式や四者択一式の問題	英語
ISSAP	3 時間	125 問の多項選択式や四者択一式の問題	英語
ISSEP	3 時間	125 問の多項選択式や四者択一式の問題	英語
ISSMP	3 時間	125 問の多項選択式や四者択一式の問題	英語
CC	2 時間	100 問の多項選択式や四者択一式の問題	英語、中国語、日本語、ドイツ語



シナリオベースの複数の多項選択式問題がある場合があります。これらの試験には 25 問のプレテストの問題が、調査の目的で含まれています。プレテスト問題は見分けがつかないよう掲載されているため、すべての問題に対してあなたのベストを尽くして解答してください。

サイバーセキュリティ試験に合格するには、1,000 点満点中少なくともスケーリングされた 700 点のスコアが必要です。

CISSP の Computerized Adaptive Test についてよく理解しましょう。ISC2 は [Computerized Adaptive Testing \(CAT\)](#) を使用しています。CISSP CAT は、あなたの能力をより正確で効率的に評価します。

サイバーセキュリティ試験のポリシーと手順

試験のスケジュール変更またはキャンセル

- 試験の予約を変更またはキャンセルするには、アカウントにログインするか、電話（877-863-0386）でピアソン VUE に連絡してください。
- オンラインの場合、少なくとも試験の 48 時間前まで、電話の場合、少なくとも 24 時間前までにご連絡ください。
- ピアソン VUE は、予約変更手数料として 50 米ドルおよびキャンセル手数料として 100 米ドルを請求します。

払い戻し

- 受験登録料（電話・インターネットでの予約）の返金は、以下のようないかなる理由があっても行われません。
 - 重複登録
 - 24 営業時間の期限を過ぎても試験予約の変更および／またはキャンセルがなされなかった場合
 - 試験予約時間に到着しなかった場合

遅刻または欠席

- 試験開始時間の少なくとも 30 分前までに試験会場に到着するようにしましょう。
- 開始時間 15 分前に到着しなかった場合は、遅刻とみなされます。その場合、あなたに割り当てられた席は無効となる可能性があります。他の受験者の試験開始時間に影響を与えることなく、あなたが受験できるかどうかは、テストセンターの判断にゆだねられます。
- ピアソン VUE は、受験者が遅刻した場合にも対応するよう可能な限り努力します。しかし、それができない場合は、試験を受けられないこともあります。
- 遅刻または欠席の理由で試験を受けられない場合、試験結果は欠席としてシステムに表示されます。受験料が返却されることもありません。

テストセンターに持参する必要があるもの

- 適切な身分証明書 - ISC2 では、サイバーセキュリティ試験を受験するために 2 つの形式の身分証明書（ID）が必要です。テストセンターでチェックインするときには、第一身分証明書と第二身分証明書の提示を求められます。ISC2 では、手のひら静脈スキャンの提出も求められます。



- あなたの ID は有効期限内のものでなければなりません（期限切れの ID は不可）。
- 原本でなければなりません（コピーやファックスは不可）。
- 第一身分証明書は、写真と署名付きのものでなければなりません。（写真は文書に永続的に貼付されている必要があります）。
- 第二身分証明書は署名付きのものでなければなりません。
- 受理された第一身分証明書（写真と署名付きであり、期限切れでないもの）
 - 政府発行の運転免許証または ID カード
 - 米国国務省発行の運転免許証
 - 米国学習者許可証（写真と署名のあるカードに限る）
 - 国民／州／国の ID カード
 - パスポート
 - 軍人 ID／配偶者および扶養家族の軍人 ID
 - 外国人登録証（グリーンカード、永住者ビザ）
 - 政府発行の現地言語の身分証明書（写真と署名付きのプラスチックカード）
 - 社員証
 - 学生証
 - クレジットカード*（クレジットカードは、写真と署名の両方が含まれている場合にのみ、第一身分証明書として使用できます。期限切れは不可です。クレジットカードに署名があり、有効期限切れではない場合は、どのクレジットカードでも第二身分証明書として使用できます。これには主要なクレジットカードのほか、デパートやガソリンクレジットカードも含まれます。）
- 受理される第二身分証明書（署名付きであり、期限切れではないもの）
 - 米国ソーシャルセキュリティカード
 - デビット／ATM カード
 - クレジットカード*
 - 第一身分証明書リストにある任意の形式の身分証明書



テストセンターに持ち込んではいけないもの

- 武器 - テストセンターでは武器の持ち込みは禁止されています。武器（または試験管理者が武器とみなすもの）を持ち込んだ場合は、車の中に保管するよう求められます。車による移動ではない場合、他の所持品と一緒に、武器をロッカーに保管することができます。
- これには例外が1つあります - あなたが公務を果たすために現場で行動する法執行機関職員または警備員である場合、武器の携帯が認められます。この例外は、試験を受ける予定の法執行機関職員や警備員には適用されません。

ネームマッチングポリシー

- IDに記載されている姓名は、ピアソンVUEへの登録に使用した姓名と完全に一致している必要があります。（例えば、運転免許証にチャールズ（Charles）と記載されている場合は、チャック（Chuck）やチャーリー（Charlie）ではなく、必ずチャールズ（Charles）として登録してください）。
- 名前が一致しない場合は、試験当日テストセンターに、名前が変更されたことを法的に証明するものを持参しなければなりません。その書類は原本（コピーやファックスではない）でなければなりません。ピアソンVUEで受理できる法的に認められる書類：
 - 婚姻許可証
 - 離婚判決
 - 裁判所が承認した法的な名義変更書類
- ピアソンVUEへ登録する名前を間違えた場合は、試験日前にISC2に連絡して訂正してもらう必要があります。
- テストセンターでの変更など、試験日当日に名前を変更することはできません。名前が一致しない場合は退席してもらうこととなります。受験料も没収されます。



受験日

チェックインプロセス

試験開始時間の少なくとも 30 分前までにテストセンターに到着するようにしましょう。チェックインするには、

- 受け入れ可能な 2 つの形式の身分証明書を提示する。
- 署名する。
- [手のひら静脈スキャン](#)を受ける（法律で禁止されている場合を除く）。
- 写真を撮ってもらう。帽子、スカーフ、コートは写真撮影に着用できない場合があります。これらのアイテムは試験室で着用することもできません。
- 私物は試験室の外に置きましょう。安全な保管場所を利用することもできます。収納スペースは狭いので、事前に整理しましょう。ピアソン VUE テストセンターは、あなたの私物について責任を負いません。
- テスト管理者（TA）は、簡単なオリエンテーションを行います。その後、TA があなたをコンピュータ端末まで案内します。

受験アシスタントと休憩

- 試験中は、スタッフから「立ち上がってもよいです」と指示がない限り、席に座っていなければなりません。TA の指示がない限り、コンピュータ端末を変更することはできません。
- 次の場合、手を挙げて TA にお知らせください。
 - パソコンに問題があると確信した場合。
 - ノートボードを変更する必要がある場合。
 - 休憩を取る必要がある場合。
 - 何らかの理由で管理者を必要とする場合。
- 合計試験時間には、予定外に取られた休憩時間も含まれます。すべての休憩は試験時間にカウントされます。休憩時間には必ず試験室を出なければなりません。ただし、不可避免的に必要な場合（薬を取りに行く場合など）を除き、建物から出たり、私物にアクセスすることはできません。
- 休憩するときは、休憩前と休憩後に手のひら静脈スキャンを受けることが求められます。

テスト環境

- ピアソン VUE テストセンターは、さまざまな種類の種類の試験を管理しています。試験によっては、作文（エッセイなど）することもあります。テストセンターが、隣のキーボードでタイピングする音を管理することはありません。タイピングノイズは、コンピュータ化されたテスト環境では通常起こりうることです。それは、紙と鉛筆を使ったテスト環境でページをめくる音のようなものです。
- 必要に応じて耳栓を利用できます。



試験終了時

- 終了後、手を挙げて TA を呼んでください。すべての要件を満たしていれば、TA はあなたの退室を許可します。
- 以下のような場合は、テストセンターを出る前に必ず TA に知らせてください。
 - テストの実施方法に異常があったと考える場合、または
 - 異常なテスト状況が、試験の結果に悪影響を及ぼしたと考える場合

技術的な問題

- まれに、テストセンターで技術的な問題が発生することがあります。そのような場合、サイバーセキュリティ試験のスケジュールの変更が必要かもしれません。
- 技術的な問題により、予定された試験開始時刻から 30 分以上待たされた場合や、試験が開始されてから中断し 30 分以上経過した場合は、そのまま待ち続けるか、追加料金なしでスケジュールを変更するか選択できます。
 - スケジュールを変更せず待つことを選択し、遅延後にテストを受けた場合、テスト結果は有効なものとなります。さらなる配慮はなされません。
 - 待つことを選択したものの、試験を開始する（または再開する）前に気が変わった場合は、後日、追加料金なしで試験を受けることができます。
 - スケジュールの変更を選択した場合や、技術的な問題が解決できない場合は、追加料金なしで後日テストを受けることができます。
- 私たちはあなたの時間が貴重なことを理解しています。試験前に技術的な問題が特定された場合、テストセンターは最大限の努力をしてあなたに連絡します。



結果報告

結果を受け取る

- ISC2 は、スコアを公表する前に、スコアデータを徹底的に統計的・心理測定学的に分析し、合否スコアを確定します。この分析の完了には、最低限の受験者数を必要とします。
- そのため、この重要なプロセスの完了に、特定の試験では受験者数によっては採点が約 6~8 週間遅れることもあります。
- テストセンターでチェックアウトする際、TA から非公式の試験結果が渡されます。後日、ISC2 から正式な結果を電子メールでお知らせします。
- 場合によっては、リアルタイムの結果が得られないこともあります。
- すべての試験結果は、ISC2 の心理学的およびフォレンジック評価の対象となります。この評価は、正式な結果が出た後に行われる可能性があります。（タイミングは受験が行われた回数に応じます。）心理測定および法医学的評価がスコアに影響する場合は、ISC2 が通知します。
- 結果を電話でお伝えすることはありません。このポリシーについてご不明な点がある場合は、試験前に ISC2 までお問い合わせください。

試験の不正と結果の無効化

- ISC2 は、試験前、試験中、試験後に何らかの異常、不正、またはポリシー違反があったと疑われる場合、その状況を調査し、措置が必要かどうかを判断します。ISC2 は、影響を受けた受験者の試験を採点しないことを選択することができます。あるいは、ISC2 は影響を受けた受験者の結果を取り消すことを選択することができます。
- ISC2 の独自の裁量により、私たちは次のことを行うことができます。
 - これまで取得したすべての資格を取り消す。
 - 今後の ISC2 認定資格の取得を禁止する。
 - [ISC2 Examination Agreement \(試験同意書\)](#) に記載されている状況下では、試験の採点を拒否したり、試験をキャンセルしたりすることができます。

再受験ポリシー

- CC、CISSP、CGRC、CCSP、CSSLP、ISSAP、ISSEP、ISSMP、SSCP の各認定資格プログラムでは、再受験を規定する 2 つの独立したルールがあります。
 - **再受験までの間に受験できない期間があります。**
 - 最初の受験で合格できなかった場合は、30 日後に再受験することができます。
 - 2 回目の受験で合格できなかった場合は、直近の受験から 60 日間の経過後に再受験できます。
 - 3 回目の受験で試験に合格できなかった場合は、その後のすべての再受験に対して、直近の受験から 90 日間の経過後に再受験できます。
 - 認定プログラムごとに、12 ヶ月間に最大で 4 回まで ISC2 試験を受験することができます。
- なお、Candidate は複数の資格取得を同時に進めることができます。

試験による再認定



- 次のような理由により資格を取り消された場合は、再認定のための試験を受けられます。
 - 必要な継続専門教育単位数を満たさなかった。
 - 推薦状の期限が切れた。

ISC2 の合否判定ルール

認定を受ける Candidate が CISSP CAT 試験に合格するか不合格になるかの判定は、以下の 3 つの異なるシナリオによって決まります。

※それ以外の試験に関する合格または不合格については、正解数に基づいて判定されます。*

- シナリオ#1：95%信頼区間ルール
 - 試験の最小問題数（125 問）が満たされると、その後の能力推定値が合格点の 95% の統計的信頼度を明らかに下回った時点で試験は終了します。
 - なお、統計的に能力推定値が合格基準を超える Candidate は、試験に合格となります。
 - 統計的に能力推定値が合格基準を下回る Candidate は、不合格となります。
- シナリオ#2：最大問題数試験
 - 最大問題数（150 問）に達する前に信頼区間ルールが発動されなかった場合、認定を受ける Candidate の能力推定値は最終的に合格基準をもとに評価されます。
 - 認定を受ける Candidate が解答した最後の 75 問について、能力推定値がすべての問いで一貫して合格基準を上回っている場合、試験結果は合格となります。
 - 最後の 75 問のいずれかの時点で、認定を受ける Candidate の能力推定値が合格基準を下回った場合、結果は不合格となります。
 - 合格基準に対する能力推定値の評価では、信頼区間は考慮されません。
- シナリオ#3：時間切れ（R. O. O. T.）ルール
 - 試験の最大時間（4 時間）に到達する前に信頼区間ルールが発動されなかった場合、認定を受ける Candidate の能力推定値は合格基準をもとに評価されます。
 - 認定を受ける Candidate が解答した最後の 75 問について、能力推定値が常に合格基準を上回っている場合、試験結果は合格となります。
 - これら 75 問のいずれかの時点で、認定を受ける Candidate の能力推定値が合格基準を下回った場合、結果は不合格となります。合格基準に対する能力推定値の評価では、信頼区間は考慮されません。
 - 認定を受ける Candidate が試験の最大時間（4 時間）以内に 75 問に解答しなかった場合、自動的に試験に不合格となります。

試験形式

Candidate には、多項選択式や異なる形式で記述された問題が出題される場合があります。これらの形式には、計算、順序応答（ordered response）、ドラッグアンドドロップ、および／またはホットスポットが含まれますが、これらに限定されません。すべての問題の形式で、チャートや表などのマルチメディアを含む場合があります。

CISSP 合格基準



職務分析の結果に基づいて CISSP CAT 試験様式を作成する場合は、新たな試験の合格基準を設定する必要があります。合格基準は、カットスコアとも呼ばれ、CISSP の資格を保有し、良好な状態にある主題専門家 (SME : Subject Matter Expert) のグループによって、心理測定士の指導の下で設定されます。SME グループは、認定試験で一般的に使用されている標準的な設定方法の 1 つであるモディファイドアンゴフ法 (Modifid Angoff 法) の厳格なプロセスを遂行します。そこでは、テストの各問題を検討し、最小適格候補者 (MCC : Minimally Competent Candidate) からなる対象グループがそれぞれの問題に正解する割合を見積もります。対象グループの成績の推定値を各問題にわたって合計し、それぞれのカットスコアを求め、グループ全体のカットスコアとして平均し、MCC としての最低合格点の推定値を算出します。合格基準を設定するワークショップでは、心理測定専門家が MCC の決定方法を詳細に検討し、心理測定的に有効なカットスコアを設定できるよう SME をトレーニングします。CISSP 試験に合格するためには、各 Candidate はスケールされたスコアで 700 点以上を獲得する必要があります。CISSP 試験において合格または不合格となる受験者の割合はあらかじめ設定されていません。

類似する問題

時に、Candidate によっては、試験のより早い時点に出た問題と非常に似た問題に遭遇することがあります。これは様々な理由で発生する可能性があります。例えば、いくつかの問題は、似たような状況、シナリオ、または問題に関するものであっても、セキュリティプロセスの異なる段階に対応している可能性があります。あるいは、プレテスト (採点されない) 問題が、正式な (採点される) 問題と同様の内容になる可能性があります。最初の問題に誤答したことにより、以前に出題された問題と類似する 2 つ目の問題が出題されたわけではありません。出題される各問題について、あなたが正解と思う解答を常に選択してください。すべての試験は、それぞれの試験計画に準拠しています。

推測

急いで推測するとスコアが大幅に低下する可能性があります。一部の予備校等では、特定の紙と鉛筆によるテストにおいて、未回答の問題が不正解として扱われることを認識してきました。そのため、彼らは時間が無くなったときに Candidate のスコアを向上させるために、Candidate が少なくともいくつかの問題を正解することを期待して、(おそらく問題を読むことさえせずに) 急いで推測することを推奨することがあります。CISSP CAT 試験などの適応型試験でこのような行為を行うと、悲惨な結果になる可能性があります。このような行為は、より簡単な問題を出題する効果をもたらし、Candidate の能力推定値をさらに低下させます。最良のアドバイス :

1. 適度なペースを維持すること (各問題にかける時間は、1 分から 2 分以内に収める)。
2. 各問題をよく読み考えてから解答すること。



追加試験情報

参考文献の補足

Candidate は、CBK に関連するリソースを再確認し、追加的に意識を向ける必要のある学問分野を特定し、学習と経験を補うことを奨励されています。

補足参考文献の全リストは、www.isc2.org/certifications/References でご覧いただけます。

試験の方針と手続き

ISC2 は認定を受ける Candidate に対して、試験に登録する前に試験の方針や手続きを確認することを推奨しています。この重要な情報の包括的な内訳は、www.isc2.org/Register-for-Exam をご覧ください。

法的情報

[ISC2 の法的方針](#)に関するご質問は、ISC2 法務部 legal@isc2.org までお問い合わせください。

ご不明な点がありますか？

ISC2 Candidate サービス

電話：+1. 866. 331. ISC2 (4722)、 「1」 を押してください

E メール：membersupport@isc2.org

ISC2 アメリカ

電話：+1. 866. 331. ISC2 (4722)

E メール：info@isc2.org

ISC2 アジア太平洋

電話：+(852) 58035662

E メール：isc2asia@isc2.org

ISC2 EMEA (欧州・中東・アフリカ)

電話：+44 (0) 203-960-7800

E メール：info-emea@isc2.org